

|                 |  |                |  |
|-----------------|--|----------------|--|
| <b>医療マネジメント</b> |  | <b>小野村 健太郎</b> |  |
|-----------------|--|----------------|--|

|      |     |       |     |      |         |
|------|-----|-------|-----|------|---------|
| 配当年次 | 2年次 | 配当学期  | 1学期 | 科目区分 | エグゼクティブ |
| 単位数  | 2単位 | 必修・選択 | 選択  | 授業形態 | 講義      |

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標  
/ Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

| 学位授与方針における能力 |          | 到達目標   |
|--------------|----------|--|
| 知識・理解        | 理論知識     | ○ 医療マネジメントに関連する専門的知識を修得する。                   |
|              | 実践知識     |  |
| 技能           | 分析解決技能   | ○ 医療の現場における課題を適切に抽出し、分析する力を身につける。            |
|              | 実務技能     |  |
|              | 新規事業技能   |  |
| 態度           | 倫理観態度    | ○ 医療の専門的知識に裏付けられた、高い倫理観を身につける。               |
|              | 企業変革態度   |  |
|              | 地域リーダー態度 | ○ 地域のリーダーとして、医療マネジメントに関する諸問題に積極的に取り組むことができる。 |
|              | 国際協調態度   |  |

※ ◎: 強く関連 ○: 関連 △: やや関連

※ 2013年度以降入学生が対象です。

医療マネジメント

### 授業の概要

医療の歴史を振り返りながら、現代の医療とりわけ日本の医療の現場において、何が課題なのかを分析し考察する。医療マネジメントは、これらの課題に医療従事者が積極的に取り組み、質の高い医療を効果的に患者に提供するための一連の創造的活動である。医療マネジメントの理論を正しく効率的に現場で活用するためには、医療経済、医療制度、法、安全管理や組織論に精通する必要がある。これらを実用的な立場に立ってわかりやすく解説する。また、医療従事者が医療マネジメントの専門的知識を正しく修得し得たととしても、高い倫理観に裏づけられた適正なリーダーシップを発揮できなければ、上述の課題は解決には向かわない。リーダーシップに関する従来の知識や理論に対する誤解を具体例を挙げて指摘し、誰もが医療マネジメントに精通したリーダーとなり得ることを解説する。

### 教科書

毎回、資料を用意します。

### 参考書

患者塾、毎週火曜日毎日新聞西部本社版に連載中  
厚生労働白書、平成25年版、厚生労働省編  
医療マネジメント、真野俊樹、2004、日本評論社  
ベーシック医療問題（第4版）、池上直己、2010、日本経済新聞社  
マネジメントー基本と原則、PFドラッカー、上田惇生編訳、2001、ダイヤモンド社  
入門・医療倫理1、赤林朗編、2005、勁草書房  
リーダーシップ、Harvard business review、2002、ダイヤモンド社

### 授業計画・内容

- ①医療マネジメントとは？そして、今なぜ医療マネジメントなのか？  
患者医師関係を中心に医療の歴史を振り返ったあと、医療をマネジメントすることの必要性和その方法論を解説する。
- ②マネジメントとは？  
ドラッカーのマネジメントの理論を概観し、医療の現場においてマネジメントに何ができるのかを考える。
- ③医療において何が問題なのか1  
医療サービスの支払い方式を中心に各国と日本の医療保障制度を比較検討し日本の医療の問題点を浮きぼりにする。
- ④医療において何が問題なのか2  
医療費を適正化し医療の質を向上させるために何が課題なのかを解説する。
- ⑤医療において何が問題なのか3  
医療従事者に必要な意識改革と患者に必要な意識改革について述べる。
- ⑥医療マネジメントの基礎知識1 1. 医療と医療の費用に関わる法制度の変遷  
2. DPCの正しい理解と実践のために
- ⑦医療マネジメントの基礎知識2 医療従事者のための医療経済学と医療政策  
医療における経済的評価の理論と実際を、実例を挙げながらわかりやすく解説する。  
また、医療政策が何を指すべきかについて概説する。

- ⑧医療マネジメントの基礎知識3 生き残りのための経営戦略  
基準病床数の存在や医局制度による人事など、医療機関の経営戦略の特異性に言及しながら、医療機関の生き残りのためのマネジメントを解説する。
- ⑨医療マネジメントの基礎知識4 収益管理とコスト管理  
医療においては、「収益管理からコスト管理へ」の時代と言われる。その背景と具体的なマネジメントについて解説する。また、資金管理と投資、資金調達についても触れる。
- ⑩医療マネジメントの基礎知識5 組織を活性化するために  
人材管理やチームマネジメント、TQM、オペレーションマネジメントについて解説する。
- ⑪医療マネジメントの基礎知識6 医療機関のICT戦略と安全管理  
医療機関のICTの発達とともに安全管理の取り組みも大きく変貌している。医療機関のICT戦略と見逃しがちな安全管理の落とし穴について詳説する。
- ⑫医療マネジメントに求められる医療倫理とは？  
実例として、尊厳死を求める瀕死の患者の家族に医療現場はどう対応すればいいのかをを考えながら、「医療倫理」の問題点と必要性を解説する。あわせて患者満足についても考える。
- ⑬リーダーシップに関する最近の考え方  
ハーバードビジネススクール等におけるリーダーシップの最近の理論を概観する。
- ⑭医療マネジメントのためのリーダーシップ  
医療現場におけるリーダーシップの特異性を考察する。その上で、職種にかかわらず地域と医療現場のリーダーとなることの必要性と可能性について述べる。
- ⑮まとめにかえて 医療事故謝罪記者会見シミュレーション  
医療事故は、まさかのものではなく残念なことにごく身近なものになっている。あなたの現場でも起こりうる医療事故を想定し、現役の報道記者にも立ち会ってもらい、謝罪記者会見のシミュレーションを行う。このシミュレーションを通じて医療マネジメントの意義を総括したい。

**成績評価の方法** 日常の授業への取り組み（毎回講義終了後にレポートを提出） 50%、  
レポート（すべての講義終了後に提出） 50%

**事前・事後学習の内容** 講義後には、内容を800字程度にまとめて次回講義の際に提出すること。

**履修上の注意** 授業は、「つづきもの」として連続性を持たせた授業計画になっているので、授業の始めに前回分を簡単に振り返ったあとで新しい内容の講義に入る予定です。  
講義後には、内容を800字程度にまとめて次回講義の際に提出すること。

**担当者からのメッセージ** 医療マネジメントは、医療従事者のみのものと考えられがちですが、「賢い患者」として効率的に医療を利用するためにもきわめて有用な情報を提供してくれます。医療従事者以外の方でも、少しでも関心のある方は、ぜひ気楽な気持ちで履修してください。  
また、基礎知識や医療現場の実体験がなくても、講義を楽しみながら「医療マネジメント力」を身につけることができるように、授業計画と内容を工夫したつもりです。

**キーワード** 医療問題、マネジメント、医療経済学、コスト管理、医療政策、患者満足度、医療倫理、リーダーシップ